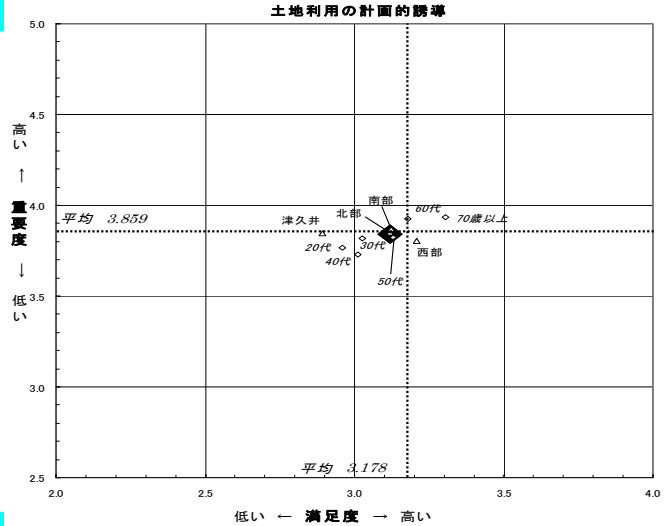


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.118で121施策の中で71番目。
 ○重要度は3.840で65番目である。
 ○改善要望度は0.0290で54番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、20代で最も低くなっている。重要度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は南部で最も高く、西部で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	4 ② 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	4 ② 1	市民満足度調査では、上位施策である「環境と調和し、地域の特色を生かした秩序ある土地利用の実現」の満足度が前回21位から今回24位に下がり、また、重要度が35位が34位に上がった。しかし、どちらも平均値より低いことからこの結果となった。このことから、前回に比べ、まちづくりに対して一層の施策の推進が求められていると考えられる。
合計		5		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	計画的な土地利用の誘導など総合的なまちづくりに関して広く市民に周知する必要がある。また、無秩序な土地利用による自然破壊や、主要幹線道路沿道、工業地域及び準工業地域等における、住工混在による住環境や操業環境の悪化等、それぞれの環境の維持が難しくなっている。
解決策	新都市計画マスタープランの策定において、具体的なまちづくりの方向性を示し、より多くの市民の積極的な参加や協力のもと計画的で良好な都市づくりを進める。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

事務作業進捗率ではなく、実際に計画的誘導が行われた成果の指標化を検討されたい。	3次評価 B
---	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

単位:千円

事務事業 担当課	構成事務事業	H19決算見込 (事業費)	H20予算 (事業費)	H21見込額 (事業費)	事業効果 の高い 指標番号	前回の 優先順位	H17人員 (人)	H17決算額 (事業費)	H17合計 (人件費含む)
都市計画課	都市計画審議会経費	846				法	1.89	1,363	16,578
都市計画課	都市計画基本図作成委託	105,744				法	1.00	3,529	11,579
都市計画課	区域区分界等調査測量委託					法	0.09	2,353	3,078
都市計画課	区域区分界等設定関連事業	64,219	55,000		2				0
都市計画課	都市計画マスタープラン策 定事業	12,285	10,000		1				0
都市計画課	都市計画基礎調査	38,913	14,600						0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		222,007	79,600	0			2.98	7,245	31,234